

じょうえつ
市議会
だより
2021 No.210
5月号

春 かげほし



目次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 3月定例会 | |
| 総括質疑 コロナ禍への対応と新たな取組は | 2 |
| 常任委員会の審査 | 4 |
| 討論・請願・審議結果・賛否一覧 | 8 |
| ここが聞きたい! 一般質問 | 10 |
| 議会傍聴時乳幼児一時預かり事業利用助成金 が利用できます | 19 |
| 6月定例会の予定 | 19 |
| ご参加ください! 議会報告会・意見交換会 | 20 |

無料アプリ



マチイロ

で議会だより配信中!

この無料アプリをダウンロードして登録すると、議会だより発行日にお知らせが届き、いつでもどこでもスマートフォンやタブレットなどで議会だよりを読むことができます。ぜひご利用ください。



←アプリのDLはこちらから

※アプリのダウンロードや利用は無料ですが、通信費は利用者の負担となります。

たな取組は

- 2月26日～3月2日（本会議・委員会）：
市長による提案説明、総括質疑（7人）、
先行議決議案の4常任委員会、採決（2件）
 - 3月3日～12日（委員会）：4常任委員会
 - 3月15日～18日（本会議）：一般質問（26人）
 - 3月22日（本会議）：
討論（6人）、採決（44件）
- ※議案と審議結果については9ページをご覧ください。

今定例会では、公明党、市民クラブ、輝、みらい、日本共産党議員団、創風、会派に属さない議員（宮越議員）が総括質疑を行いました。

問／新型コロナウイルスワクチン接種は、令和3年度から本格的な接種となる。より安心でスムーズな接種体制をどう図るのか。

答／かかりつけ医などの医療機関での「個別接種」及び公共施設等や介護保険施設等での「集団接種」により実施する。接種の実施については多くの医師や看護師から協力可能との回答をいただいております、想定する方法での接種は可能と考え

問／新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防し、同感染症のまん延防止を図るため、希望者に任意での予防接種として実施します。医療従事者への先行・優先接種後に、高齢者及び介護保険施設等従事者、次に16歳から64歳までの市民の順に行います。

新型コロナウイルスワクチン接種
安心してスムーズな接種体制は？



ている。市民の皆さんには個別に、接種券や予診票と併せて接種方法を分かりやすく示した資料を郵送にて案内する。また、県及び市がそれぞれコールセンターを立ち上げ、様々な問合せに対応する。現在、ワクチンの供給時期や量の見通しが国から示されていないが、明らかにした際は、個別通知のほか、広報上越や市ホームページ等で必要な周知を行う。

問／森林空間を活用した中山間地域の魅力再発見事業の目指す姿についての考えを聞きたい。

答／市内に本来の林業とは異なる森林資源、空間を活用する動きが出てきており、そういった新たな活動が実際の収入につながることで、冬場や農閑期の収入源としても期待できることから、中山間地域での暮らしを安

問／市内だけでなく市外、県外の森林や中山間地域に興味を持つ方々を対象に、森林資源や空間を活用した市内各所での取組内容を紹介するシンポジウムを開催するほか、森林空間の魅力を直に体感できる薪づくりやたき火イベント等を実施し、森林の魅力や森林資源、空間活用の可能性を伝える取組を行います。

森林空間を活用した中山間地域の
魅力再発見事業 目指す姿は？



定させるだけでなく、中山間地域で生活する新たな意義を付加する意味でも大きな可能性を秘めている。この事業を通じて関係人口を増やしつつ、ひいては中山間地域での移住、定住が図られるよう森林資源や空間を活用した新たなありわいの創出につなげていきたい。

3月定例会

総括質疑

令和3年度一般会計予算など

コロナ禍への対応と新

総括質疑は、市長が提出した議案に対して案件の概要と疑問点を解明するために行われます。



現代アート作品を展示予定の「ライオン像のある館」（上越市文化財 旧直江津銀行）

（仮称）直江津アートプロジェクト事業
交流人口の拡大による自立したまちづくりを



直江津地区のまちの活性化と交流人口の拡大を目指す、水族博物館うみがたりや商業施設、商店街等と連動した新たな賑わいづくりを図るため、関係機関や市民団体等で組織する実行委員会による、現代アートを題材とした「（仮称）直江津アートプロジェクト事業」の取組を支援します。

問／この事業を契機に、どのような交流人口の拡大による自立したまちをつくるていくのか。

答／現代アートの作家が制作する作品を、直江津の歴史や文化、風土を感じられる海や公園、ライオン像のある館、商店街などの地域固有の拠点に展示すると

もに、若者や子育て世代が多く訪れる水族博物館うみがたりや無印良品といった集客施設、さらには地元の方々と連携し、地域の様々な魅力を発信する中で、市内外から訪れた方々に、興味、関心を持ってまちを巡っていただくよう、知恵と工夫をこらした取組を検討していく。さらに、同時に開催される「越後妻有アートトリエンナーレ・大地の芸術祭」とも連携し、イベントのPRや情報発信のほか、ほくほく線を活用した双方の送客の取組などを通じて、広域的な集客を図る。

総務

市政の運営方針や、財務、防災、総合事務所に関することなど、広範な議案等を審査しています。

注目!

エフエム上越の 経営の在り方に関する 議会の総意への対応は？

■令和3年度一般会計予算

エフエム上越の事業譲渡について、2月18日に「エフエム上越の経営の在り方に関する議会の総意」を市長へ提出し、以下のとおり対応状況の報告がありました。

エフエム上越の事業譲渡

エフエム上越(株)の単独での経営健全化が困難な見通しのため、令和3年4月に上越ケーブルビジョン(株)へ事業を譲渡し、会社清算に向けた手続を進めます。

■エフエム上越の経営の在り方に関する議会の総意

- 1 上越ケーブルビジョン(株)と上越市の覚書に以下の2点を盛り込むこと。
 - (1) エフエム上越(株)が担ってきた「地域に密着したコミュニティ放送として上越市民に必要な情報を伝える」という目的を、上越ケーブルビジョン(株)が確実に継承すること。
 - (2) 上越市が上記(1)の目的が達せられないと判断した場合には、協議の場を設けること。
- 2 周波数を統合し、上越市と妙高市に同一の放送を行うこととなった場合、上越市民への情報の質と量を担保すること。
- 3 この度の事業譲渡及び会社清算に際し、出資金の放棄、また新たな補助金の支出がある場合、説明を尽くすこと。
- 4 エフエム上越(株)がすべての株主に対し、事業譲渡に至った経緯等の説明責任を果たすこと。

■行政側の対応状況

- 1 上越ケーブルビジョン(株)と上越市の覚書は、鋭意協議を進めている。
- 2 具体的な検討は始まっていないが、周波数の統合が実施される場合は真に必要な情報発信の量を精査していきたいと考えている。
- 3 市及びその他の株主は、2月19日の臨時株主総会で会社解散の決議が承認されたことで出資金を放棄した。補助金の支出は、円滑な事業承継を図るために市が負担することが適当と考えている。
- 4 臨時株主総会の前に意思の確認ができていない株主に対し連絡を取り、対応した。



総意の提出に当たり、4回の委員間討議を行いました。

委員間討議の詳細は、2月4・9・12・15日に開催した総務常任委員協議会をご覧ください。



■令和3年度一般会計予算

ハザードマップ活用研修

地域での共有は？

問／ハザードマップ活用研修の対象者は町内会長や防災士となつているが、研修後はどのように地域住民に伝えていくのか。

答／研修受講者には、防災訓練や総会など地域の集会の場でハザードマップの見方について説明し、地域でお話しいただくようお願いしている。令和2年度はコロナ禍で防災訓練を中止した地域が多い中、210の組織でハザードマップの話を取り入れた活動を行っている。



病院改築スケジュールの変更

コロナ禍等の影響を受け、令和2年度に予定していた収支改善の取組の遅れ等の理由により、十分な検証が困難であるため、令和3年度に予定していた基本設計を見合わせ、収支改善の取組を継続しつつ、必要があれば計画の見直しを行います。

注目!

上越地域医療センター
病院の改築に向けた
取組は？

令和3年度病院事業会計予算



コロナ禍で患者数が大きく減少した上越地域医療センター病院

問／改築について、必要があれば基本計画を見直すところがあるが、どのように判断するのか。
答／コロナの影響で患者数が非常に減少している。このまま減少傾向が続くのであれば基本計画を見直す必要があるが、まだ見極めができない。

厚生

健康づくりや多種の福祉施策、環境保全など市民に身近な議案等を審査しています。

令和3年度一般会計予算

子宮頸がん検診
受診率向上の取組は？

問／国の補助事業で21歳の方に配布している子宮頸がん検診の無料クーポン券について、好発年齢である50代の方にも配布すれば、より一層受診率が高まると考えるが、独自事業として実施する考えはないか。
答／21歳の方への配布は、妊娠、出産を迎える前に検診してもらうためのものがある。好発年齢の方への配布は考えていないが、検診の受診勧奨は精力的に行っていくたい。



強度行動障害
サービス環境は？

問／強度行動障害とは、自傷・他害行為等、周囲の人に影響を及ぼす行動が多く、特別な支援が必要な状態です。
答／強度行動障害の方の介護が非常に大変な中、障害福祉サービスが不足しているのではないかと。
問／保護者の方と直接懇談する中で、現状やお気持ちは聞いている。今後関係機関等と連携しながら、相談支援体制や障害福祉サービス基盤の整備、就労支援を強化していくこと等により、障害をお持ちの方が、住み慣れた地域で安心安全に暮らせるように環境を整えていきたい。

農政建設

農林水産業や道路の建設・管理、ガス・上下水道事業等インフラ整備に関する議案等を審査しています。

注目!

担い手確保・経営強化支援事業費補助金 13区からの要望は?



令和2年度一般会計補正予算(第9号)

問/合併前上越市の3つの事業主体のほか、13区の事業主体から手は挙げられなかったのか。
答/国から示された内容を受け、市内全域1、019の認定農業者等を対象に事業の案内を送付し、要望のあったものを計上している。

担い手確保・経営強化支援事業費補助金

国の補正予算を活用し、経営面積の拡大や農業経営の複合化を行い、販売収入の増加等による付加価値額の拡大に取り組む経営体が行う機械整備に要する経費を支援します。

令和3年度一般会計予算

雪中貯蔵施設「ユキノハコ」愛称の選定方法は?

農産物の高付加価値化・ブランド化による所得向上と賑わいの創出、地域活性化を図るため、施設内見学や雪国の寒さを体感できる機能を備えた観光対応型の雪中貯蔵施設が完成し、愛称が決定しました。

問/雪中貯蔵施設の愛称が「ユキノハコ」に決定したが、どのように選定を行ったのか。
答/愛称を募集したところ、全国から506件の応募をいただいた。選定に当たっては、雪室に携わっている利用者や高校生などを含めた愛称選考委員会で5案まで絞り込み、最終的に市が決定した。

上越市雪中貯蔵施設

ユキノハコ



冠水注意喚起システム導入の経緯は?

春日山アンダーパスに、豪雨による道路冠水の危険を自動で察知し、迅速に行止めを告知する冠水注意喚起システムを整備します。

問/春日山アンダーパスに冠水注意喚起システムが必要と判断した過程は。また、過去に車両が水没した事例はあるのか。
答/市内のアンダーパス6か所のうち、春日山アンダーパスは平成30年と令和2年に冠水し、平成30年には車1台の被害があった。これまで看板や側壁の色別ラインを設けるなどしていたが、最近の急な豪雨による冠水が度々あることから、導入を提案した。

文教
経済

商工業、観光業などに関する経済施策や、小中学校に関する議案等を審査しています。

注目!

地域経済活性化店舗等
改装促進事業
対象業種拡充の理由は?



令和2年度一般会計補正予算(第9号)

地域経済活性化店舗等改装促進事業
(新型コロナウイルス対応型)

国の地方創生臨時交付金を活用し、中小企業者等が新型コロナウイルス感染症の感染予防のために実施する店舗等の改装工事にかかる費用を補助します。

問／補助対象者として、「その他市長が認める業種」を加えた理由は何か。
答／日本標準産業分類に基づき、業種を分けているが、その区分だけでは対応できない実情があった。実際に相談を受ける中で、区分からは対象外となっても、対面で接客する業種だったケースもあり、できる限り支援するため、文言を加えた。

令和3年度一般会計予算

第三セクター

整理の方向性は?

問／第三セクターの方向性は、収益性だけでなく、設立経緯や市民の思いも判断材料の一つとしてほしい一方、民間でもできる温浴施設という性格を持つ第三セクターもある。どう整理していくのか。
答／管理運営事業者の話と、施設そのものの話を整理する必要がある。また、合併時の町村の思いと、合併後に同じ思いがあるかということや、市全体として施設を使ってもらえるかということをもう一度検討する必要がある。時間的な制約はあるが、これまでの合併からの歩みを踏まえる中で、施設を将来どのようにしていくか、発展性のある議論を行っていききたい。

不登校の子どもたちへの
支援の取組は?

問／不登校の子どもたちへの支援として、令和3年度はどう取り組むのか。
答／不登校の子どもたちが増えてきている中で、一人一人の支援を深めていく。また、学校だけでは解決が困難なケースを関係機関等と連携して支援を行う学校問題解決支援プロジェクトチーム(JAST)との連携を大事に考えたい。さらに、将来的にはオンライン学習やSNSによる相談についても考えていきたい。

外国語指導助手
欠員に支障は?

令和2年度一般会計補正
予算(第10号)

問／新型コロナウイルス感染症拡大により、外国語指導助手(ALT)の12人が欠員となり7人体制となったが、支障はなかったのか。
答／今後どのように進めていくか協議する中で、直接雇用と民間委託の様々なメリット、デメリットを勘案しながら、引き続き、外国青年を招致して地方自治体等で任用するJETプログラムを活用し、派遣を受けることとした。今後、入国制限解除などの状況を見ながら対応していきたい。

問／補助対象者として、「その他市長が認める業種」を加えた理由は何か。
答／日本標準産業分類に基づき、業種を分けているが、その区分だけでは対応できない実情があった。実際に相談を受ける中で、区分からは対象外となっても、対面で接客する業種だったケースもあり、できる限り支援するため、文言を加えた。





定例会最終日の3月22日、議案に対して賛成か反対かの意見を表明する討論が、3月2日と22日に議案の採決が行われました。

市長提出議案に対する討論

賛成の立場で

〈創風〉

コロナ禍における地域経済の実情に合わせた経済支援の拡充をはじめ、担い手確保や働く場の創出に分野横断的に取り組むこと、行政事務のデジタル化に対応した情報システム環境の構築による「新たな日常」に対応した改革などを評価するとともに、当市の総合力が高まることを期待し、全議案に賛成する。

〈公明党〉

新型コロナウイルス感染症対策と経済対策の両立が求められる中、万全なワクチン接種体制の確立や拡充された経済対策を高く評価する。若者等の多様な雇用の創出に向けた取組や「(仮称)直江津アートプロジェクト」による交流人口の拡大などによる当市の持続的発展を期待し、全議案に賛成する。

〈みらい〉

第6次行政改革の取組と第2次行財政改革に基づく計画的な行政運営を推進し、すこやかなまちづくりを着実に進める姿勢を評価する。新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、市民の安心・安全や地域経済への支援に取り組む予算編成であることから、いずれも適正であることと判断し、全議案に賛成する。

〈輝〉

新型コロナウイルス感染症への対応と「新たな日常」を見据えた市民生活及び地域経済支援をはじめ、人口減少対策やまちの活性化、若者等の定住・UI-Jターンの促進に向けた取組など、目の前の課題に対応し、将来にまちをつないでいく想いが込められた予算編成であると評価し、全議案に賛成する。

反対の立場で

〈日本共産党議員団〉

住宅リフォーム促進事業の拡充や店舗リニューアル助成の継続などは評価するが、コロナ禍への対応に必要な施策が不十分であることや介護保険料の引上げ、市が責任を持つて行うべき学校給食調理業務の民間委託の拡大などが問題と考えることから、令和3年度一般会計予算をはじめ、5議案に反対する。



請願を不採択

■「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める」意見書の採択を求める請願

請願は、市民等が議会に対し、意見や要望を直接伝えるものです。今定例会では、1件の請願が提出されました。採決を前に、日本共産党議員団が賛成討論を行い、賛成少数で不採択となりました。

詳細は、下のQRコードから該当ページをご覧ください。



次は、
ごことが聞きたい！
一般質問

審議結果一覧

◎は全会一致、○は賛成多数、×は不採択

| 議案等番号 | 件名 | 審議結果 | 議案等番号 | 件名 | 審議結果 | |
|-------|--|------|-------|---|------------------------------------|---|
| 予 算 | 1 令和3年度上越市一般会計予算 | ○ | 条 例 | 24 上越市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について | ◎ | |
| | 2 " 国民健康保険特別会計予算 | ○ | | 25 職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について | ◎ | |
| | 3 " 診療所特別会計予算 | ◎ | | 26 上越市特別会計条例の一部改正について | ◎ | |
| | 4 " 介護保険特別会計予算 | ○ | | 27 上越市手数料条例の一部改正について | ◎ | |
| | 5 " 後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | | 28 上越市地域自治区の設置に関する条例の一部改正について | ◎ | |
| | 6 " 病院事業会計予算 | ◎ | | 29 上越市介護保険条例の一部改正について | ○ | |
| | 7 " 下水道事業会計予算 | ◎ | | 30 上越市高齢者交流施設条例の一部改正について | ◎ | |
| | 8 " ガス事業会計予算 | ◎ | | 31 上越市国民健康保険税条例の一部改正について | ◎ | |
| | 9 " 水道事業会計予算 | ◎ | | 32 上越市国民健康保険条例等の一部改正について | ◎ | |
| | 10 " 工業用水道事業会計予算 | ◎ | | 33 上越市漁港管理条例の一部改正について | ◎ | |
| | 11 令和2年度上越市一般会計補正予算(第9号) | ◎ | | 34 上越市都市公園条例の一部改正について | ◎ | |
| | 12 " 一般会計補正予算(第10号) | ◎ | | 35 上越市道路占用料等徴収条例の一部改正について | ◎ | |
| | 13 " 国民健康保険特別会計補正予算(第5号) | ◎ | | 36 上越市下水道条例の一部改正について | ◎ | |
| | 14 " 診療所特別会計補正予算(第4号) | ◎ | | 37 上越市農業集落排水条例の一部改正について | ◎ | |
| | 15 " 介護保険特別会計補正予算(第5号) | ◎ | | 38 上越市水道事業給水条例の一部改正について | ◎ | |
| | 16 " 地球環境特別会計補正予算(第1号) | ◎ | | 39 上越市立学校条例の一部改正について | ◎ | |
| | 17 " 後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) | ◎ | | 40 上越市立学校給食共同調理場条例の一部改正について | ◎ | |
| | 18 " 病院事業会計補正予算(第4号) | ◎ | | そ の 他 | 41 財産の無償譲渡について(浦川原方面隊山印内消防部消防器具置場) | ◎ |
| | 19 " 下水道事業会計補正予算(第4号) | ◎ | | | 42 " (福寿荘) | ◎ |
| | 20 " 下水道事業会計補正予算(第5号) | ◎ | | | 43 指定管理者の指定について(牧湯の里深山荘) | ◎ |
| | 21 " 水道事業会計補正予算(第2号) | ◎ | | | 44 " (上越市五智歴史の里会館) | ◎ |
| 条 例 | 22 上越市手話言語及びコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例の制定について | ◎ | 報 告 | 1 専決処分した事件の承認について(令和2年度上越市一般会計補正予算(専第3号)) | ◎ | |
| | 23 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について | ◎ | 請 願 | 1 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める」意見書の採択を求める請願 | × | |

議員の賛否一覧

賛否が分かれるなどした表の網掛けの議案の賛否等を公表します。

| 議案等番号 | 議決結果 | 合計 | | みらい | | | | | | | 輝 | | | | 創風 | | | | 日本共産党議員団 | 市民クラブ | 公明党 | 会派に属さない議員 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|----|----|----------|-------|--------|---------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|------|-------|-------|-------|--------|----------|-------|-------|-----------|-------|--------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|------|------|------|-------|---|---|
| | | 賛成 | 反対 | ストントン 聖子 | 高橋 浩輔 | 高山 ゆう子 | 中土井 かおる | 宮川 大樹 | 本山 正人 | 石田 裕一 | 波多野 一夫 | 鈴木 めぐみ | 橋本 洋一 | 田中 聡 | 小林 和孝 | 滝沢 一成 | 栗田 英明 | 小山 ようこ | 宮崎 朋子 | 池田 尚江 | 大島 洋一 | 江口 修一 | 武藤 正信 | 平良 木哲也 | 上野 公悦 | 橋爪 法一 | 牧田 正樹 | こんどう 彰治 | 山田 忠晴 | 杉田 勝典 | 安田 佳世 | 宮越 馨 | 丸山 章 | 渡邊 隆 | 飯塚 義隆 | | |
| 1 | 可決 | 28 | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | |
| 2 | 可決 | 28 | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 4 | 可決 | 28 | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 5 | 可決 | 28 | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 29 | 可決 | 28 | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 請願1 | 不採択 | 5 | 26 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |

※ ○は賛成、●は反対。なお、議長(飯塚義隆)は採決には加わらない。

ここが聞きたい!

一般質問



議員が市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。

今定例会では26人が質問しました。

※本文は質問者が執筆したものを編集しました。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会ホームページにあるその議員の一般質問の動画が視聴できます。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります)



※ごく一部の掲載となりました。
30項目の質問一覧と録画映像は、上のQRコードからお入りください。

な経験・教訓だった。想像力を働かせ次に備えたい。

問／この度の豪雪で得た教訓は何か。

以上期間短縮は難しかった。

答／今回、市民から8千件を超える問合せ、苦情があった。緊急車両が頻繁に通行する重点路線や車両が集中する幹線道路は、優先せざるを得ない。歩道除雪は、より迅速にできないか検討する。自主的な除雪は、これからの在り方として研究したい。一斉雪下ろし実施日は、あれ

下ろしは遅くなかったか。

問／今冬1月7日からの豪雪で、私たちのまちにとって雪は宿痾であることを思い知らされた。「雪を徹底的に克服し打ち勝つ」ことである。除排雪、一斉雪下ろし等で分かった課題と対処を30項目訊きたい。幹線車道を最優先、生活道路はその後という判断は正しかったか、町内ごとのメインストリートは早く開けるなど一定の配慮が必要である。通学路の歩道除雪の徹底が必要であり、子どもたちが歩道を歩けず車道の端で身をすくめながら歩く姿はあつてはならない。市民が自主的に除雪する事例が見られ、互助の視点から良いことと思うがどうか。一斉雪下ろしは遅くなかったか。



今冬の豪雪災害で
得た教訓は
溝沢 一成 (輝)



自治体システム標準化・
共通化の見通しは
杉田 勝典 (公明党)



問／行政手続のオンライン化や自治体システムの「標準化」「共通化」の見通しは。高齢者を含め全市民がITの恩恵を受けられる取組は。

答／国は令和7年度末までの標準化を義務付け、クラウド環境による共通化も検討している。市は、これを情報システム全体の見直しや業務の合理化につなげることで、申請データを処理する情報システムの標準化・共通化を先行する。デジタル機器に不慣れな方でも容易に操作できるように利用しやすいシステム設計にしたい。

除雪を担う建設業界全体の担い手確保を

問／大豪雪を踏まえ、短・中期的な除雪対策や除雪体制の維持に向けた建設業界との連携は。

答／除雪を担う建設事業者の安定的な経営が必要であり、市は国・県とも連携した建設産業の「働き方改革」、同産業の役割・重要性の一層の発信等を通して、同産業全体の担い手育成・確保による継続的な除雪体制構築につなげたい。

使い勝手のよい「事業再構築補助金」の周知を

問／事業転換や新分野開拓支援の「事業再構築補助金」を大いにPRしてはどうか。

答／市の中小企業チャレンジ補助金と同趣旨の補助金で、取組規模に応じて使い分けができる。様々な媒体で周知し、きめ細かくサポートする。



柏崎刈羽原発・安全協定に
事前了解権を！
牧田 正樹（市民クラブ）



問／柏崎刈羽原発で多くの不祥事が発覚しているが、市としてどう受け止めているか。

答／花角県知事は「柏崎刈羽原発全体に対する信頼を失いかねない事態である」と見解を述べており、私も同じ認識である。東京電力の管理能力に疑念を抱かざるを得ない。徹底した調査による原因究明と万全の対策を強く求めたい。

問／他人のIDカードによる不正入室事案等について、関係自治体への報告を義務付ける条項を安全協定に加えるべきと考えるがどうか。

答／市町村研究会では、「通報連絡の在り方」

についての協議・検討を進めることとしている。

問／UPZ（原発から30km）圏内の自治体は事前了解権を有する安全協定の締結が必要と考えるが、市の見解はどうか。

答／国が専門的な知見に基づき、可否の判断基準もあわせて示すべきと考える。

ワクチンを希望しない人への配慮を！

問／新型コロナウイルスワクチンの安全性に不安を持つ人もいる。市民への情報提供と接種を希望しない人への差別防止策はどうか。

答／接種による効果や副反応の正しい情報を個別通知や広報上越等で周知する。また、個人の判断により接種を希望しない人が、不当な扱いや差別を受けることのないよう、啓発に努める。



新型コロナウイルス接種
副反応への対応は
池田 尚江（創風）



問／新型コロナウイルスワクチン接種に伴う副反応について、市民への情報提供と接種会場での急変時の対応をどのように進めていくか。

答／現在、国内の医療従事者への先行接種における副反応のデータ収集が行われている。4月以降の接種開始に当たっては、データに基づく副反応の情報を市民に伝えていく。集団接種会場では容態の急変に備え、医療機関への救急搬送も想定し上越地域消防局や救急指定病院等との連携体制を確保し、市民が安心して接種を受けられるよう努める。

問／集団的接種による集団免疫の意味を市民にどう伝えるか。

答／自分が接種を受けなくても周りが接種を受ければ集団免疫を獲得できるから受けない、ということとは避けなければならぬ。目的、効果、副反応の正しい情報を市民に周知していきたい。

感染症患者への誹謗中傷の抑止対策は

問／新型コロナウイルス感染症患者への誹謗中傷の抑止対策を強化すべきと考えるが、どうか。

答／感染確認後の記者会見の開催や広報紙などを活用し人権への配慮を啓発してきたが、いまだSNSなどで感染症患者や家族への誹謗中傷が散見され、遺憾に堪えない。今後も学校等での人権教育を含め市民への啓発を進めていく。



金谷地区公民館整備の
方向性と今後の日程は
こたごつ 彰治（市民クラブ）



問／28地区で唯一、地区内に公民館が無い金谷地区の公民館整備の方向性と今後の日程は。

答／現在の高田区から金谷区内に移転新築する。令和3年度から適地選定等に着手する。

今冬の除雪体制の検証結果は

問／歩道除雪に関し、市と県との出動基準に相違がある。市の基準への統一を要請する考えは。

答／市は積雪10〜15cm、県は20cmを目安に出動する。地域の実情や現場状況に応じて適切な歩道除雪を実施している。

問／狭あい道路や生活道路などに係る除排雪費などの支援をする考えはないか。

答／現行では、町内会等の行った除排雪などの費用助成はない。今後、除排雪作業の仕組みづくりや支援制度について調査研究する。

問／雁木整備支援の地域指定の制限をなくし、全地域の雁木整備に見直すべきではないか。

答／指定した地域以外の補助は考えていない。

南葉山荘の再建は

問／南葉山荘が落雷により焼失して2年、同様な施設の再建はしないのか。

答／南葉山荘の再建は考えていない。山荘が担ってきた機能は、既存の学習施設やバンガローが代替機能を果たしている。



「過疎集落」の現状と今後の見通しは

橋本 洋一 (輝)



問／上越市における「過疎集落」の現状と集落の維持、活性化に向けた対策と今後の見通しはどうか。

答／「過疎集落」については、過疎地域や特別豪雪地帯等に指定された地域の集落と捉えており、上越市では大潟区と頸城区を除く地域で、726集落が該当となっている。このうち、65歳以上の高齢者が人口の50%以上を占める高齢化の進行が顕著な集落は160あり、全体の約2割となっている。市では集落の状況に応じた支援を行うことが重要と考え、集落づくり推進員が日常的に巡回しながら実情把握に努めているところである。集落が直面している人口減少や高齢化に起因する様々な課題は、一朝一夕に解決するものではないが、集落づくり推進員の増員や地域おこし協力隊を導入する地域も計画しているところであり、今後とも地域の声をしっかりと聴いて、それぞれが思いを寄せる地域で暮らし続けたいと願う気持ちをくみ取りながら、地域に寄り添った支援を進めていく。



ドイツ・ホストタウン活動を次世代へ



問／東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン活動について、ドイツのホストタウンとして合宿受入時の新型コロナウイルス感染症対策の準備状況はどうか。

答／選手団の移動は専用車両を準備し、宿泊施設では選手団以外の接触を避ける対策を講じるよう、ドイツ体操連盟と連絡調整に努めている。選手団と市民が直接触れ合う行事は難しいが、感染症対策を踏まえた交流の実施を検討している。今後、国などが決定する事項に基づき順次詳細を話していく。



上越市合宿受入ドイツ・体操チームとドイツ・パラ柔道チーム

問／ドイツのホストタウン活動に取り組む自治体と連携し、上越市内の子どもたちとのスポーツ・文化交流を積極的に進める考えはないか。

答／これまでもドイツをホストタウンとする自治体と横連携協議を立ち上げ取り組んできた。市で取り組んできた子どもたちによる交流体験や活動の一環として、今後も横連携協議で築いた関係性をいかしていく。



市内郵便局も全国24自治体のドイツ・ホストタウンを紹介



安心して妊娠・出産・子育てができる施策は



問／妊娠・出産・子育てに関する悩みを気軽に相談できる体制の充実を図ってはどうか。

答／多くの方々から気軽に相談いただけるよう、上越助産師会やNPO法人等も含め、各種相談窓口の周知を行い、不安や悩みを丁寧に聞き取り、寄り添った支援を行っていく。

問／宿泊型やデイサービス型の産後ケア事業は、答／産後ケア事業に関するアンケート調査や、医療機関等の意見を聞き、現状の取組について検証し、改善を図っていきたい。

大雪に関する対応状況と今後の対策は

問／市民からの多くの苦情や問合せを町内会とともに検証すべきと考えるがどうか。

答／毎年4月に行っている町内会へのアンケートで、意見・要望の集約をする。町内の現状や問題点を把握・共有し、町内会長・除雪事業者・市の3者による意見交換会を実施する。

インクルーシブ遊具の設置は

問／現存公園へのインクルーシブ遊具の設置は、答／「みんなで育む子どもの笑顔・輝く未来」の実現に向けて、先進地の取組を把握し、障害者支援、子育て支援に携わる関係者の声を聞き、ニーズの有無や遊具の利用における課題を確認し、取り入れることができるか研究していく。



**コロナ禍での
市税徴収猶予の対応は**



宮崎 明子（創風）

問／市税徴収猶予の申請状況はどうだったか。

答／令和3年2月1日までに、個人・法人合わせて130人に計1億914万円の徴収猶予を許可した。固定資産税の猶予が多くみられた。

問／今後の市独自の市税徴収猶予の特例は、これまでの課題を踏まえてどう対応するのか。

答／令和2年も途中で経済状況が緩和され、申請せずに済んだ方もいた。分割納付なども含め、個々の状況に応じて、より丁寧に対応していく。

シニアパスポートの在り方を問う

問／現在の利用状況は。

答／22年続く事業で、70歳以上が対象。温浴施設等の割引や民間事業所によるサービスがある。約4万8千人が所有し、年間50回利用する方もいる。

問／20年間で高齢者事情は変わったと考える。今後は①日々難儀になるこ

との生活支援②健康づくり③生きがいや社会貢献の、大きく3つのふり幅があると考えるがどうか。

答／一律、プッシュ型の支援の在り方も含めて検討し、今後の福祉施策の充実に努めていく。



**今冬の教訓をいかし、
次への「備え」を**



高橋 浩輔（みづ）

問／車社会の進展や雪下ろし人材の不足等、社会状況の変化に伴い、一斉雪下ろしの実施方法も変化を求められていると考える。例えば、ブ

ロック分けをして実施日を分散させてはどうか。

答／降雪状況にもよるが、円滑な交通や雪下ろし事業者確保等の観点から、ブロック分けをして実施日を分散させる手法も今後検討していく。

問／一斉雪下ろしは毎年あるわけではない。今冬の経験をしつかりと次世代に継承し、これらに備えていくために工夫をしていることがある

れば聞きたい。また、庁舎内における豪雪対応経験者や外部の人材活用は行われているか。

答／まずはシミュレーション訓練に尽きる。災害を想定した机上訓練はこれまでも行ってきた。過去の記録をひもときながら早期に備えている。今冬は担当部署を離れた方にも急ぎよ加わってもらい、その知見を対応にいかした。庁舎内外問わず、災害に対する知識や経験がある方をリ

スト化し備えておく取組は今後も継続していく。

問／今冬において行われた「共助」の取組や事例を各町内会の自主防災組織にいかし、今後に備えてもらうための働きかけはできないか。

答／既に防災士会と話を始めている。冬期間における「自助」及び「共助」の取組について、各地域で行われた今冬の取組を集約し、広く知らせていくことから始めたい。



**「運動は薬」運動習慣で
健康になるために！**



中井 かおる（みづ）

問／生活習慣病の予防のため、個々の健康状態や健診結果に基づいた個別運動プログラムの提供が必要と考えるがどうか。

答／令和2年度から上越教育大学と協力し、生涯スポーツ指導員が個別運動プログラムを作る事業を開始し、生活習慣病予防講座の参加者にも促している。今後データを蓄積し、効果を検証していく。

国民病と言われるスギ花粉症の発症予防を！

問／現在、高田城址公園内には180本以上のスギの木がある。スギ花粉症予防のため、公園内のスギの管理、伐採計画についての考えは。

答／城址公園として樹木の保護・保存に努めるエリアであり、公園内という限られた伐採での効果の有無など課題もある。現時点では伐採は考えていない。

多様な環境での学習が認められる時代に

問／不登校児童生徒への支援について、文部科学省は「自宅でのICT等を活用した学習活動の出席扱い」が可能と通知したが、市の現状は。

答／フリースクールや民間教育機関の利用で出席扱いとしている児童生徒は現在、小学校4校で4人、中学校9校で14人である。引き続き、支援の充実に努める。





外国人市民に
やさしい日本語で話そう！
ストラットン恵美子（みづみ）



問／外国人市民への更なる支援拡充が必要では。

答／令和2年度は相談窓口の開設時間拡充と自動翻訳機の配置を行った。支援拡充を検討する。

問／災害時の適切な避難支援が必要ではないか。

答／ハザードマップを多言語で発信していく。

問／外国人・帰国児童生徒への教育支援は。

答／個別の日本語指導などを実施している。保護者や関係機関と連携し、支援していく。

民間のオンライン教育 不登校支援は

問／民間のオンライン教育を学校の出席扱いや成績評価として取り扱うことは可能なのか。

答／一定の要件を確認できれば各学校長の判断において出席扱いや学習評価も可能としている。

コロナ禍における結婚披露宴の支援は

問／「Go To Wedding」として後押しし、ブライダル業界の需要回復につなげては。

答／特定の業界に限った支援は難しい。「事業者経営支援金」などの制度を活用してほしい。

水族博物館「うみがたり」の在り方は

問／水族館の新たな展開を検討すべきでは。

答／鯨類の安定的な飼育を大前提に、指定管理者としてしっかり協議し、市内外から来館いただければよう全国に発信できる水族館にしていきたい。



蘇らせる 中心市街地
（高田区・直江津区）
丸山 章（無所属）



問／次のとおり策を提案するが、どうか。

提案1…「町家・雁木保全条例」を制定し、町家のリノベーション等への補助制度を創設する。

提案2…歴史的・文化的価値を有する町家を活用し、特徴ある新たな街並みを形成する。

「街の姿」キャッチコピー①「ほつと一息つける・心が和むまち」として町家の住環境の質を高め、快適な生活、町家カフェ等での交流、歴史文化の味わいを肌で感じられる環境へ導く。

②「ふと振り向いてしまう・心地よい生活空間」として画家・陶芸家等の卵や大学生等が居住・活動・飛躍できる環境を整える。訪れる人が「本物」の魅力、芸術文化に親しめるとともに、気楽に立ち寄れるスポットへ導いていく。

提案3…「ママ・パパ子育て応援ハウス」を設立する。①高田区・直江津区の中心市街地に1か所ずつ設置する。②点在している子育て関係施設を一体化し、親の要望・希望を極力かなえ、ワンストップサービスにするなど、利便性を向上させる。③乳幼児を預けた後、保育や各保育園への送迎は全て「応援ハウス」で対応する。

④空き町家をリノベーションし、活用する。

答／個人資産である町家の街並みを保全・整備する経費の補助、その根拠となる条例を制定する考えはない。現在の子育て関係施設は既に喜ばれており、提案の施設の設置は考えていない。



海岸保安林は被害甚大
処理作業に支援を
上野 公悦（日本共産党議員団）



問／今冬の豪雪によつて、海岸部の保安林は300本に及ぶ倒木や枝折れなど大きな被害を受けた。保安林は飛砂や防風、塩害などから民家や鵜の浜温泉地を守る役割があり、また、海水浴場に接する四ツ屋浜の保安林は観光やキャンプ、アスレチックに親しむなどのレクリエーション活動の場として生活にゆとりを提供するなどの保健機能、風致林の役割がある。関係町内会では、連日倒木などの処理作業に当たっているが、高齢化もあり、処理作業は大変である。費用も含め、支援が必要ではないか。

答／現場は確認していたが、現場の人たちに対しての対応が不十分だったことはお詫びしたい。通常維持管理に使用する緑の募金森づくり事業の配分額上限を30万円から50万円に拡大する。倒木処理を行った町内会について被災証明書があればクリーンセンターの処分費を減免する。キャンプ場等はオープンに向けて適切に処理する。野外活動施設は4月、大潟キャンプ場は5月に向け準備している。

問／ぜひ現場で話を聞き、励ましてほしい。今回の支援策も周知してほしい。

答／町内会の方々の話をお聞きし、今回の制度の内容も伝えていきたい。



被害のあった保安林



人員不足が懸念される
市道の除草への対応は



問／市道の維持管理において道路の除草は欠かせないが、高齢化に伴う人員不足により作業が困難な状況にある。薬剤散布と草刈りを併用した除草を行う考えはないか。

答／車両通行及び交通安全のため重要な業務である。高齢化による人員不足で作業継続に支障がある状況も散見される。除草剤散布の併用も有効と認識しているが、「上越市環境行動計画」において、「市道では除草剤を使用せず、草刈り機により除草する」と定め、公共水域の水質汚濁防止や生態系保全の観点から除草剤の併用は現時点で考えていない。更に除草作業の継続が困難となった場合は、地元事業者等へ委託する等の対応を考えていく。

問／業者委託による除草作業においても、人員不足や大型草刈機の不足で作業の遅れや良好な道路維持管理に支障を来している。地元業者への草刈機の貸出制度を創設する考えはないか。

答／現在委託している市道除草は、約345kmあり、20の建設事業者が行っている。限られた人員のため、地域の方々が希望する時期での実施が困難な状況になっている。大型除草機械の導入の効果は大きいですが、受託事業者から希望する声がないことから、現時点で貸出制度を創設する考えはない。引き続き適切な除草作業の実施に取り組み、市道の維持管理に努めていく。



イルカ連続死の
検証結果は



問／イルカの死亡原因はプールの大きさ（表面積）ではないのか。

答／鯨類飼育環境の検証において、水槽サイズが死亡要因となった可能性とするまでには至らなかった。

問／風よけ、日よけの設置後、6頭体制に戻し、パフォーマンスを続けるのか。

答／通年での鯨類の飼育展示を基本とした管理運営計画と6頭体制での施設や設備を備えており、必要不可欠と考えている。検証結果の提言を踏まえ、指定管理者とともに対応していく。



八景島のアクアスタジアム

古城小学校統合後の校舎利活用は

問／校舎の利活用をどうしていくのか。

答／行政や地域による利活用がなければ、サウンディング調査やプロポーザルなどにより、民間による利活用を検討する。企業誘致活動を行う中で、相手のニーズに合う施設を積極的に紹介していく。



古城小学校周辺



百年後も桜の名所であり続けるために



問／大雪による高田城址公園の桜の被害状況は。答／公園内にある約2千本のうち全体の約36%である764本に枝が折れる等の被害があった。

問／桜の被害状況をどう捉えているか。答／エリアごとに被害状況を確認し、公園内よりも道路沿いで被害が多い傾向にあった。

問／桜の修復状況はどうか。作業は2人の桜守だけで行い、業者等を入れていないのか。

答／公園管理人等とともに行い、3月16日で73%完了し、26日まで100%の作業完了を目指す。



コロナ禍における避難所設営は

問／新年度予算では、感染症対策に必要な機材の補充としてダンボールベッドが計上されているが、他に防災テントの購入は考えているのか。避難所において防災テントはプライバシー確保や衛生面でも高い効果があると考えられているか。

答／ダンボールベッドに固執せず防災テント購入も検討していく。

問／地域の防災力向上には、防災士を有効活用し、行政主体から防災士を中心とする住民主体で行う

避難所設営訓練をすべきと考えられているか。答／防災士会等と協力し、訓練を行っていく。





「公園の区分」の再編と
機能向上を



田中 聡(輝)

問／市内の公園は、その目的と用途が分かれており、市の担当所管別に管理している。全体を包括した施設の配置についての考えはあるか。

答／当市には様々な規模や機能を持つ都市公園が142か所、農村公園が77か所、児童遊園が76か所、中規模公園が8か所、民間事業者等が開発行為で整備し、市に譲渡された公園等が205か所、合わせて508か所の公園がある。遊具については、安全性や老朽化等の視点から、統一的な基準を定め、各所管課にて管理している。管理方法について、農村公園・児童遊園は、都市公園と同様の形態に統一している。

問／公園の利用実態や特色ごとに「公園の区分」を再編し、検証した上で機能向上を図っていく考えはないか。

答／人口減少や少子化・高齢化に加え、余暇活動の多様化に伴う市民ニーズの変化、複数の公園が近接している状況などの解消に向けて、関係課が連携し、公園の種別の枠を超えた適正配置を進めるとともに、将来の需要や利用者へのニーズを踏まえた機能の充実について、検討を始めたところである。検討に当たっては、地域住民の意向を踏まえ取り組んでいきたい。



五智公園の八重桜



今冬の大雪災害を
どう総括するか



渡邊 隆(無所属)

問／豪雪災害に見舞われた状況にあったが、今後の雪対策についてそれぞれに課題、検証すべき点があったと思われる。現時点での総括は。

答／記録的な大雪により生活道路の除排雪に時間を要した。除雪事業者と共に懸命に除排雪作業に取り組み、一斉雪下ろしは最短の準備期間で実施できた。今回の経験を今後の対策にいかし、引き続き市民の安全・安心確保に取り組む。

問／緊急車両のため、幹線道路の除排雪を優先したことに理解はする。一方で歩道が開かず、通勤、通学者が車道を歩き、危険であった。歩道確保を優先すべきではなかったか。

答／幹線道路を優先しつつ、早期に歩道確保できるよう、除雪事業者と作業手順の確認を行う。

問／空き家対策を兼ね、空き家を解体した土地を排雪場として使えるよう所有者と交渉しては。

答／市による解体は考えていない。必要に応じて、所有者と町内会等で検討していただきたい。

問／雪捨て場について、夜間の開設など民間業者に配慮する必要もあったと考えるがどうか。

答／増設や時間延長は困難であったと考える。

問／毎年、雪下ろし作業で落下事故が起きる。市では命綱使用やアンカー設置の注意喚起を促すが、現実には則した転落防止対策なのか。

答／アンカーの仕組みや設置方法など、市民に分かりやすく効果的な注意喚起に努める。



東電は柏崎刈羽原発の
運転資格がないのでは



橋爪 法一(日本共産党議員団)

問／柏崎刈羽原子力発電所でのIDカード不正使用による中央制御室への不正入室、核防護体制の長期間にわたる不備、7号機の安全対策工事未完了問題を市としてどう見ているか。

答／東京電力について「企業統治、法令遵守がどう機能していたのか」ということに疑問を抱かざるを得ない。徹底した調査による原因究明と万全の対策を講じることを強く求めたい。

問／原子力災害における避難計画づくりに新たな課題が浮上する中で、再稼働はすべきでないと考えられているか。

答／菅総理が「しっかりとした避難計画が作れない中で再稼働が実態として進むことはない」と述べられており、私もそう受け止めている。なお、再稼働のいかんを問わず、実効性のある避難計画の策定に取り組んでいきたいと考えている。

Illustration by Kenji Hashizume





山田 忠晴（公明党）
当市における職員配置や
人材育成等の取組は



問／職員配置の基準と会計年度任用職員数、正規職員の年代構成及び女性職員の積極的登用に
ついての考えを聞きたい。

答／各所属の配置数は、毎年度の予算編成にあ
わせて定員ヒアリングを実施し、木田庁舎等の
係や総合事務所の班を単位に、事業の新規・拡
充や廃止・見直し、民間への業務委託等の進捗
状況を把握し、業務遂行に必要な職員数を
算定し、配置している。会計年度任用職員は、
令和2年4月時点で、年間を通して任用する職
員が1,680人である。女性職員の登用につ
いては、能力主義に基づく適材適所の配置を基
本とする中で、人事異動において、女性職員が
活躍する機会の拡大を異動方針の一つとし、係
長以上の職への積極的な登用を推進している。

問／上越市人材育成方針の取組を聞きたい。ま
た、若手職員の政策提案制度があるか聞きたい。

答／職員を育成するため、平成22年8月に人材
育成方針を策定し、職員として大切にすべき価
値観や基本的姿勢の共有を図り、育成と任用が
連動する人事行政と労働環境の整備を進め、基
礎的な資質・能力の維持・向上や専門性の伸長
に向けた各種研修を実施してきた。若手職員に
特化した政策提案制度は設けていないが、職員
の意識改革や資質・能力の向上を図り、効果的・
効率的な組織体制と人材育成を推進している。



栗田 英明（輝）
地域協議会の在り方を
再点検すべきでは



問／合併に伴い設置された地域協議会が全市域
に導入され、市長の附属機関として市政に意見
する役割を担ってきた。加えて、地域活動支援
事業の採択を行っているが、これらは上越市の
目指す住民自治のあるべき姿と合致しているか。

答／地域の多様な課題を主体的に解決すると
もに、地域住民が支え合っていくことを上越市
の住民自治のあるべき姿とイメージしている。
地域協議会はそれに向け取り組んでおり、一定
の成果を上げている。その一方で、委員構成や
地域団体との連携不足という課題もある。今後
は運用面での改善を図るとともに、地域活動支
援事業も含め総合的に議論する必要があると認
識している。

自治基本条例の進捗をどう考えるか

問／当市の最高規範である自治基本条例は平成
20年に制定され、これまで2回の見直し検証を
行い、条例に沿った自治の取組についても確認
したものと思う。順調に進捗しているか。

答／平成29年度の見直し検討委員会では条項の
改正は必要なしと判断された。それに合わせ、
市政運営が条例に基づき適正に機能しているこ
とも検証された。しかし、個々の取組の進捗を
管理するものではない。今後も市民参画や協働
の一層の推進を図る取組を地道に継続していく。



平良木 哲也（日本共産党議員団）
新型コロナ対策に注力を



問／新型コロナウイルス感染症対策で、高齢者
施設のスタッフが感染した場合に、介護体制を
維持するための手立てはどうか。

答／介護サービス事業所の職員が新型コロナウ
イルスに感染あるいは濃厚接触者になると、2
週間程度勤務できなくなる。不足する職員を自
らまかなえない場合に他の法人から応援職員を
派遣できる体制が、県によって整備された。居
宅サービスでも同様である。当市では、この制
度に11法人が登録しており、特別養護老人ホー
ム等、入所施設への応援が可能となっている。

問／新型コロナウイルス感染拡大による受診控
えで、各医療機関への緊急支援が必要な事態に
なっているが、市の支援策はどうか。

答／国レベルの実効性ある対策が必要なので、
国に要望している。市としても「事業者経営支
援金」を創設し、事業継続を支援している。

問／事業者経営支援金制度は、ありがたい制度
ではあるが、固定費の大きな医療機関はあまり
実効性がないのが実態である。医療機関に特化
した更に効果的な支援を市独自で創設すべきで
はないか。

答／国や県に比べ財政規模の小さな市としては
限界がある。医療機関に特化した支援策は研究
するが、即座に対応することは難しいと考えて
いる。



直江津で地域が一体感を
もったまちづくりを
安田 佳世（無所属）



問／今後の佐渡汽船への財政支援の検討と、航路活性化に向けた取組をどう考えているか。

答／財政支援については、あかねの売却による経営状況を確認し、補助金の返還と合わせて検討する。活性化に向けては、佐渡汽船や関係自治体等と情報を共有し、更に連携を図っていく。

問／水族博物館における鯨類死亡に関する検証結果報告書の提出を受け、どう対応していくか。

答／17項目の提言への対応について、できる限り実施しており、新年度予算においても工事を計画している。定期的なりリニューアルの前倒しの検討も視野に入れて、今後の対応について指定管理者と協議をしていく。

問／（仮称）直江津アートプロジェクトの内容及び同事業による効果をどう考えているか。

答／地域資源と組み合わせた現代アートの展示やイベントを通して、出会いや交流が生まれ、まちの賑わいを目指す事業である。地域の皆さんや団体と実行委員会を組織し、計画していく。
問／直江津の魅力ある要素をつなげて一体感をもったまちづくりをするための取組はどうか。

答／まちの求心力を高める様々な取組が動き出しており、市民や団体による積極的な活動は大変心強い。相互に何をしているか知り合い、前向きに取り組むことが必要であり、団体等の橋渡し役として情報の収集や伝達に努める。



スマート農業実証事業の
成果と課題は？
小林 和孝（輝）



問／上越市スマート農業プロジェクト実証事業の成果と課題について聞きたい。

答／遠隔操作型の給水栓による水管理時間の8割削減、葉色データに基づき追肥時に適期・適量を散布できる完全自動飛行ドローンによる収量増、ハンドル操作なしで直線キープするトラクタによる労働時間の4割削減など、スマート農業機械の優位性が確認できた。課題は、高額なイメージの導入コストであるが、日々改良される機械の汎用化と普及で価格は下がりがつつある。補助事業や交付金の活用など、相談窓口を通じ情報を提供していく。

地下式消火栓から地上式消火栓への変更を

問／豪雪により緊急車両が通行できない状況が続いたが、地下式消火栓を地上式消火栓に変更する考えはないか。

答／市街地では消火栓用地の確保が困難な場合等、やむを得ず道路や歩道内に設置している。新設の場合は全て地上式消火栓としており、地下式消火栓は更新や移設する場合に、地上式消火栓に変更している。



豪雪下で除雪された消火栓



自動飛行のドローン



時代は、守りの市政から
攻めの市政へ転換！
宮越 馨（無所属）



問／ストップ人口減少の決め手は、第3子以降高卒まで1人当たり月々5万円支給する子供年金制度の導入にある。ニーズ調査をすべきだ。

答／直ちに人口減少効果が上がるか分らない。また、市の財政負担の問題もあり、今はニーズ調査実施や子供年金制度の導入は考えていない。

問／新幹線駅と南高田を結ぶ都市計画道路を新設し、高田市街地と一帯化を図る考えはないか。

答／人口減少や少子高齢化が進む見通しの中、市街化区域の拡大には慎重な対処が必要である。

問／新しい自治体ガバナンスに、郵便局とJAとのコラボレーションが有望と考えるがどうか。

答／これまでも各団体等の意向を踏まえ、地域の実情に合った取組を進めてきた。地域自治区制度に位置付けられたまちづくりの重要な機関として総合事務所をこれからも活用していく。

問／地球環境特別会計が廃止となる。次なる事業で木質バイオマス発電事業に取り組みべきだ。

答／令和4年度に策定する次期環境基本計画の中で、木質バイオマス発電事業が当市の環境政策にふさわしい事業であれば取り組んでいく。

問／高田城「枅形門」の復元は、当市の観光戦略として欠かせないと思うが、どうか。

答／城の復元は安易に行うものではないが、枅形門の復元に求められる詳細な資料や調査を行いなから、慎重に検討すべきと考える。

「上越市議会傍聴時乳幼児一時預かり事業 利用助成金」が利用できます!!

上越市議会では、子育て中の方も気軽に議会の傍聴にお越しいただけるよう、上越市の各種「一時預かり事業」（託児サービス）を利用して議会の傍聴をする方に対し、一時預かり事業の利用料金を助成します。



- 助成対象となる子ども
 - ・小学校就学前の子ども

- 助成対象者
 - ・市内在住の人
(性別や年齢、子どもとの続柄による制限なし)

- 助成金額（上限）
 - 一時預かり事業を利用する助成対象の子ども1人につき1日当たり
 - ・3歳未満児：700円
 - ・3歳以上児：500円

助成対象となる一時預かり事業（対象施設）や申請方法の詳細は、右のQRコードから市議会ホームページをご覧ください。



本会議や委員会の傍聴にお越しく下さい!

6月定例会の予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----|--------------|---------------|---------------|-------------|-------------|----|
| 6/6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | 本会議 総括質疑等 | 農政建設 常任委員会 | 文教経済 常任委員会 | 厚生 常任委員会 | 総務 常任委員会 | |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| | 本会議 一般質問 | | | | | |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| | 本会議 採決等 | | | | | |

※この日程は、諸会議等により変更となる場合があります。正式には5月下旬に改めて決定し、市議会ホームページ等でご案内します。(市議会ホームページの見方は下記のとおりです。)

本会議や各委員会をインターネットでご覧いただけます



- ◆本会議の生中継及び録画中継は、ホームページの「本会議の放送」より、各委員会の生放送と録画放送は、ホームページの「委員会の放送」よりご覧ください。

※市議会ホームページは、「上越市議会」で検索いただくか、右のQRコードをスマートフォン等で読み取ることでご覧いただけます。



仕事帰りに！休日に！ご参加ください！

議会報告会・意見交換会



5月9日(日) 午前10時～

春日謙信交流館
(春日山町3丁目1番60号)

5月10日(月) 午後6時30分～

安塚コミュニティプラザ
(安塚区安塚777番地)

5月12日(水) 午後6時30分～

柿崎コミュニティプラザ
(柿崎区柿崎6405番地)

5月13日(木) 午後6時30分～

板倉コミュニティプラザ
(板倉区針722番地1)

- 3月定例会の審議内容等について報告するほか、参加者の皆さんから幅広く意見をお聴きします。
- 当日は、この議会だよりが資料となりますのでお持ちください。
- どなたでも、どの会場でもご参加いただけます。途中参加、途中退室も可能です。
- 新型コロナウイルス感染防止のため、自宅にて検温いただき、体調の悪い方は参加をお控えください。また、マスクを着用してご参加ください。



議会の新型コロナウイルス調査対策特別委員会のホームページはこちら



市の新型コロナワクチン接種のホームページはこちら



次号は、令和3年7月25日発行です。

※6月定例会の予定は、19ページをご覧ください。

広報広聴委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

| | | |
|-------|-----------|-------|
| ◎田中 聡 | ○宮越 馨 | 安田 佳世 |
| 鈴木めぐみ | ストラットン恵美子 | 高橋 浩輔 |
| 宮崎 朋子 | 山田 忠晴 | 牧田 正樹 |
| 池田 尚江 | 平良木哲也 | 飯塚 義隆 |

上越市議会だより「かけはし」のロゴを今号からリニューアルしました。当市の「かけはし(架け橋)」として謙信公大橋から、「上越市の歴史と現代をつなぐ架け橋」「市民と上越市議会をつなぐ架け橋」が表現されています。皆さんから愛される市議会だよりとなるよう、今後とも広報広聴委員会委員一同、編集に取り組んでまいります。

編集後記

3月議会をまとめた「かけはし」をお届けします。お読みのとおり、3月議会は記録的短時間降雪への対応が激しい論戦の対象となりました。また、新型コロナ対策も大きな議論となりました。このように目の前の課題について議論している姿が伝われば幸いです。

広報広聴委員会 平良木 哲也

